



# 佳作（株式会社愛媛銀行賞）

深 海

宮崎 巧太

さらし マーカー

講評

「深海」。画面全体に、折り重なるように描写されたかたちは、深い海の底に生息する不可思議な生物でしょうか。そんな想像力をかきたてる作品です。布地にマーカーで着色した色が、にじみ、ぼやけて互いの領域を浸蝕しています。結果、これが複雑で深みのある色調を生み出しています。さらに、横長の画面を意識するかのように左右に走るシャープで疾走感のある線も画面にリズムと変化を与えていて効果的です。大胆に構成された“色とかたち”からは、作者の熱気ある息遣いが聞こえてきそうです。（原田 義明）